

第 193 回ペン川柳（お題＝風） 令和 2 年 6 月 23 日

世話人：塚田 實（^{ただ}拿々）

（*印は今月の互選五句、*は最優秀句）

1. 風気味で咳をこらえて席を立つ（井波＝稲宮）→ 2 票
電車の席で咳をすると、周りから睨まれそうな気がします。止む無く立って、ドアのそばで息を抑えて咳をするのでしょうか。最近では自粛警察という言葉もあり、コロナで人間関係がギスギスするのは寂しいですね。
2. 主婦の“NO”（ノ）旋風おこし廃案に（零門＝松谷）→ 2 票
検察官の定年延長に関する検察庁法改正案は結局廃案になりました。先の国会での与野党対決法案で、国民の間にも反対の声が広がりましたが、黒川元東京高検検事長が外出自粛期間中に賭け麻雀をやっていたことが週刊文春に掲載され、あっけない幕切れになってしまいました。
3. 送風機大活躍の夜の街（拿々＝塚田）→ 3 票
バーやラウンジはコロナ対策で換気に気を配り、大型の送風機を設置しているところも多いようです。ソーシャルディスタンスをとりながら飲むのは楽しいのでしょうか。
- * 4. 風立ちぬ裾（すそ）気にする娘（こ）今や無し（不言＝岩崎）→ 4 票
和服から洋服へ、スカートも時代により長さは変化し、女装史は様々な変遷をたどりました。男性の好奇の目から逃れるため、女性側の防護体制も時代の変化を映してきましたが、作者は最近の風潮を嘆いています。
5. 老夫婦すっと差し入るすきま風（損得＝細谷）→ 2 票
元句は「そっと差し込む」でしたが、場で検討の結果上記に変更しました。情景が浮かんできます。若い頃のように派手な喧嘩をするのと、会話の無い夫婦、どっちが良いのかなは作者の呟き。
6. イザベルの風を孕んで五百年（晃二＝安藤）→ 0 票
コロンブスの大西洋西廻り航海は多くの困難に遭遇しましたが、最終的にイサベル 1 世の援助を得て 1492 年に実現したようです。これが新大陸アメリカの発見につながりました。歴史を踏まえた句でしたが、川柳子の賛同には至りませんでした。
7. テッペンに立っても尻振る風見鶏（我々好＝浜田）→ 1 票
これは誰だと喧々諤々の議論になりました。政治の世界では元祖「風見鶏」の中曽根元首相との意見多数。それ以外の世界でも、トップに立つと風見鶏になる傾向があるとの意見もありました。
8. 風の声トランプの耳ロバの耳（安兵衛＝山縣）→ 3 票
イソップ寓話「王様の耳はロバの耳」からの発想ですね。トランプ氏を巡っては、最近元大統領補佐官ボルトン氏による暴露本“*The Room Where It Happened*”が発刊されるなど話題になっています。大統領再選はどうなるのでしょうか。

9. マスクしてコロナ風邪避け熱中症 (だし=大野) → 1票
元句は「マスクにはコロナかぜより熱中症」でしたが、句意を明確にするため上記のように変更しました。コロナ感染症と熱中症は症状が似ているようです。夏に向かってより一層注意しましょう。
10. 風の盆伝語アプリでバカボンに (明迷=八木) → 0票
場の川柳子には難しかったようです。「風の盆」を伝語アプリで引くと、”Bac à vent” (バカボン) と出てくるそうです。よく見つけましたね。風の盆は9月の初めに、富山市八尾で繰り広げられる、とても雰囲気のあるお祭りです。
- * 11. 緊とけて風鈴鳴るや金困寒 (キンコンカン) (火酒=三春) → 4票
緊縮がとけ、世の中は少しずつ日常を取り戻しつつあります。夏に向け涼やかに風鈴が鳴るのが聞こえるようです。キンコンカンに「金困寒」の漢字を当てたのが、駄洒落だが面白いですね。優秀句に選ばれました。
12. 夢のはて風の大地はパタゴニア (安兵衛=山縣) → 1票
「夢のはて」はいつか行ってみたいということでしょうか。先日NHKの「グレートサミツ」の放送で、南米パタゴニアのフィッツロイ山群が紹介されていました。風というか嵐の激しさは尋常ではありませんでした。
13. 浮世風遮断したのにまた開く (晃二=安藤) → 3票
元の下五は「もう開く」でしたが、上記のように変えました。コロナによる閉じ込めで、浮世との付き合いはしばらく封印したのに、もうペン川柳会は再開だ。川柳会は出来得る限りの注意を払っています。
14. 社長風吹かす女房にアッカンベ (酔深=平尾) → 1票
場は、作者による「アッカンベ」の意味の解説から始まりました。相手に向かって下まぶたを引き下げ、赤い部分を出し、同時に舌も出して、侮辱の意を表すそうです。女房が社長風を吹かす方が、家庭内の平和を保てるのではないのでしょうか。
15. 八十路入り風にあおられ右左 (酔雅=西川) → 2票
作者はそんなに弱くはありません。まだまだ企業OBペンクラブの重鎮として大活躍しています。今回も別句(26)で最優秀句をとりました。
16. ビル風にスカート押さえ笑顔行く (拿々=塚田) → 2票
マリリン・モンローの映画「七年目の浮気」で、地下鉄が通ると風でスカートがめくりあがる有名な場面の現代版を考えました。「あれー」と気恥ずかしさを笑顔に変えて通り過ぎる女性を描きましたが、支持は伸びませんでした。
17. 三度目だ肩で風切る文春が (零門=松谷) → 1票
文春砲は何回も世間を騒がせています。最近の国会論議も週刊文春の記事をネタにしたものが多いのは、少し情けない気もします。
- * 18. 給付金風と共に消え去った (酩帝=曾山) → 4票
給付金は奥様の口座に入ったというのは本当でしょうか。給付金まですべて奥様の差配のもとに、消え去ったというのはちょっと寂しいですね。作者の嘆きに票が集まり、優秀句に選ばれました。

19. 八十路 (やそじ) にて足は立たずに風は立つ (損得=細谷) → 0 票
昔は、老人であるだけで敬意が払われていたが、今は介護施設も高すぎて、家で小さくなっていますは、作者の弁。堀辰雄の有名な句に「風立ちぬ いざ生きめやも」というのがありましたね。頑張りましょう。
20. 神風を頼って開戦ああ無残 (不言=岩崎) → 0 票
神風に助けられたのは蒙古襲来でしたね。しかし20世紀半ば頃、太平洋戦争に突入したのは無謀でした。神風は吹かず、総力戦では経済力の差が如実に現れました。あの悲劇は繰り返したくないという作者の叫びです。
21. 東風は党が資本家逆 (さか) らうな (井波=稲宮) → 0 票
「東風」は「トンプウ」と読みます。「東風」は中国を表します。日産自動車の中国における合弁相手方は東風自動車です。共産党が全てを牛耳っていますから、政権が続く限り逆らうのは難しいですね。国営企業問題は米中関係の課題でもあります。
22. 肩で風切れぬ茶髪のカブキモノ (我々好=浜田) → 1 票
元句の下五は「細ズボン」でしたが、場の多数は「カブキモノ」が良いとのことで、変更しました。今肩で風切って歩けるのは誰でしょうか。
23. 女房の顔より優しい娑婆の風 (酔深=平尾) → 2 票
風当りの強い女房から逃れるように外に出たら、爽やかに優しい風が吹いていたということでしょうか。ちょっと寂しいですね。娑婆の風も厳しいですよ。
24. 風見鶏戦 (そよ) いでいたはバーコード (明迷=八木) → 2 票
「風見鶏」は中曽根元首相のことかと想像していましたが、念のため作者に確認したところ当りでした。中曽根さんにはたくさんの渾名が付いたそうですが、「バーコード」もそうだったそうです。
25. 納豆の糸に掴まるコロナ風 (火酒=三春) → 1 票
納豆はコロナ菌に効くという流言が一時ありました。スーパーマーケットの売場から納豆が消えたそうです。世界中が治療薬だワクチンだと騒いでいるときに、そう簡単ではないと思います。敵は手強いです。
- * 26. 風当り外より強い家の中 (酔雅=西川) → 7 票
「風」の題で夫婦関係を詠んだ句が沢山ありましたが、本句が最優秀句に選ばれました。安住の地である家の中が外より風当たりが強いとは。経年と共に夫婦の力関係も変わってくるのでしょうか。
- * 27. 妻の過去風の便りに聞く怖さ (酩帝=曾山) → 6 票
妻の過去、噂になるほどもてたと、怖がらず前向きにとらえたらどうでしょうか。でも気になるのですね。一方自分の方にも色々あったはず。お互い様で過去のことは問わず、今の安定を大事にしましょう。優秀句に選ばれました。
28. 年寄り風は風に委 (まか) せて防災散歩 (だし=大野) → 0 票
最近防災散歩はACジャパンのコマーシャルで時々流れます。災害の多いときですので、いざというときに備えて日頃から防災に備えることが勧められています。「防災散歩」はいのちを守る第一歩だそうです。

出席 11 名 = 大野ただし (だし)、曾山清徳 (酪帝)、細谷博 (損得)、西川武彦 (酔雅)、
浜田道雄 (我々好)、稲宮健一 (井波)、山縣正靖 (安兵衛)、安藤晃二 (晃二)、
平尾富男 (酔深)、塚田實 (拿々)、三春 (火酒)

投句 3 名 = 岩崎洋一郎 (不言)、松谷隆 (零門)、八木信男 (明迷)

7 月以降の予定とお題 : 7 月 27 日 (月) 「傘」
8 月 25 日 (火) 「熱」
9 月 28 日 (月) 「熟」
10 月 27 日 (火) 「足・足る」
11 月 23 日 (月) 「落」
12 月 22 日 (火) 「氷」